

運営推進会議開催報告書

下記事業所について、次のとおり運営推進会議を開催したことを報告します。

1. 基本情報

事業所名	都筑区医師会ナーシングホーム		
サービス種別	看護小規模多機能型居宅介護		
所在地	横浜市都筑区牛久保西1-20-21		
担当者	石濱 千秋	連絡先	045-913-6321
運営法人	一般社団法人 横浜市都筑区医師会		

2. 開催日時・場所

日時	令和 7年 3月 14日13時30分 ~14時	場所	医師会館理事長室(オンラインと併用)
----	-------------------------	----	--------------------

3. 出席者

氏名	分野	備考(所属・従事経験など)
木下 均	地域住民の代表者	中川連合町内会 会長
伊勢田 義紀(zoom)	当該サービスに知見を有する者	中川地域ケアプラザ 所長
堀元 隆司(zoom)	当該サービスに知見を有する者	堀元歯科医院 院長
小林 雅子	当該サービスに知見を有する者	小林クリニック 副院長
栗栖 純穂	当該サービスに知見を有する者	センター北 ユア クリニック 院長
菅井 直樹(zoom)	市の職員又は地域包括支援センターの職員	都筑区役所 高齢者支援課係長
深澤 立(欠)	当該サービスに知見を有する者	都筑区医師会代表理事
石濱 千秋	事業所職員	管理者
青柳 かおる	事業所職員	副管理者
鈴木 保代	事業所職員	看護主任
佐藤 恵理	事業所職員	看護リーダー
後藤 瑞佳	事業所職員	事務
加藤 萌子	事業所職員	事務

4. 活動状況報告

別紙(様式2～4)のとおり

(裏面あり)

5. 活動状況に関する評価・意見・要望

①実績報告について

※ナーシングホームを利用したいという問い合わせが多かったのでは？

②サービス評価について

※皆さんの努力は評価しています。ナーシングホームの役割について、総会や役員会で説明し、理解を広げるとよいと思います。私では説明できないので、ローテーションで出向くのが理想です。地域連合の集まりでも説明の場を作り、次期自治会長にも協力をお願いしたいと考えています。活動をつなげていきたいですね。

※いつもインシデント報告をありがとうございます。1年間、大きな事故なく運営いただき感謝します。2025年度は地域包括の重要な節目となるため、次の段階に向けた計画と取り組みをお願いします。

※サービス評価に関しては、概ね妥当。地域住民との間の見える化、周知できるとよい。こちらも来院される方への周知や、歯科医師会を通して、協力していきたいです。

※ナーシングは自己評価を控えがちですが、前回の医師会の研修で学んだように、上に立つ人が個々を認め、職員がやりがいを感じながら思いやりのある声掛けをすることで、良い雰囲気が広がるとよい。

また、ナーシングの役割周知は医師会でも重要な課題です。連携拠点の場などで医師や在宅医と情報共有し、相談しながら、私たちも役立てるよう努めたいと思います。

※みなさんが、身を削って努力しているのはわかります。今後は地域住民への周知を広げブラッシュアップしてください。

6. 評価・意見・要望に対する考え・取組

上記①について

⇒問い合わせが一件もなかった月もあるが、「ハートページを見て」「今後必要となるのでは」など、コンスタントに問い合わせが来るようになっていく。今後も地域の皆さんに看多機を知ってもらい活動をしていく必要があると感じています。

上記②について

⇒評価を通じ、利用者やその家族、地域の皆様が安心して、介護療養生活が送れるよう、職員全員、知識や経験を積み、柔軟な対応力を養っていききたいと思う。

7. 地域からの情報提供

特になし

8. その他特記事項

特になし

※ 会議は原則事業所内で行ってください。

やむを得ず他の場所で開催する場合、必要に応じて事業所内の見学を行ってください。

活動状況報告書(看護小規模多機能型居宅介護)

1. 基本情報

事業所名	都筑区医師会ナーシングホーム		
所在地	横浜市都筑区牛久保西1-20-21		
担当者	石濱 千秋	連絡先	045-913-6321
運営法人	一般社団法人 横浜市都筑区医師会		

2. 登録者の状況 令和 7 年 2月

登録者数(2月 28日現在)		女性 15名	男性 4名	計 19名				
要介護度	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	申請・区変中
	0 名	0 名	1名	3名	1名	4名	9名	1名

3. サービス提供回数(会議開催の前月分)

登録者 (匿名)	通い	泊まり	訪問	備考(入所日、退所日など)
ア	9	0	20	0 (訪問看護)
イ	8	0	16	2
ウ	25	3	0	1
エ	17	0	32	2
オ	8	0	41	19
カ	27	26	3	77
キ	1	0	6	11
ク	20	16	4	25
ケ	15	0	1	33
コ	21	17	7	5
サ	13	9	3	3
シ	4	0	13	10
ス	10	2	13	7
セ	27	26	1	71
ソ	1	0	2	3
タ	10	2	28	0
チ	7	0	33	6
ツ	11	4	24	0
テ	1	1	0	0
ト				
ナ				
ニ				
ヌ				
ネ				
ノ				
ハ				
ヒ				
フ				平均要介護度 3.94
ヘ				
平均	12.37	5.58	13.00	

(裏面あり)

4. 運営方針

事業所の目標	1.看護・介護の連携強化及び同法人内事業所と一体的に協力体制の維持。 2.安心で安全な質の高いケアの提供を行うために、職員教育を充実させる 3.看多機について普及啓発の継続/地域住民との連携/街づくりへの参画
目標に向けた 具体的取組	1合同カンファレンスの継続、伝言ツールの利用継続等による情報共有 2-1)介護職員の医療的ケアの理解を深める(研修の実施) 2-2)終末期ケアの理解を深める(研修等の実施、外部研修参加等) 3主治医や地域包括支援センター等との連携の強化・情報発信、イベント開催

5. 活動報告

【1, 2月活動報告】 * 運営推進会議(1/10) * 管理者会議(1/20, 2/10) * 認知症連絡会主催研修会(1/24) 内容①神経内科から見たBPSDとその治療 ②BPSDに対する薬物療法について * やさしいK-ART(1/17, 2/21) * 運営会議・身体拘束適正化委員会・虐待防止検討委員会・感染対策委員会・喀痰吸引会議(1/30, 2/20) * 全体研修「相手を思いやることのできる職場づくり」(2/8) * 管理者/リーダー職研修「自己理解について」 * 事業所合同カンファレンス(毎週水曜日) * 介護職カンファレンス(毎週水曜日) * 看護職カンファレンス(毎週金曜日)	
---	--

6. 事故・ヒヤリハット報告

内容	【車いすからの転落】 車に乗り込もうとしたとき、車いすより地面にずり落ちてしまった。近くにいた方の協力で車いすに座り直し、来所。本人より、膝や腰の痛みの訴えあり整形外科受診。骨折なしの診断を受け、痛み止めの内服薬と貼付剤を処方される。原因は車いすのティルト機能を使用していなかったためと考える。
改善策	・車いす乗車の際はティルト機能を使用し、座面/背部の角度を後ろに傾ける。 ・フットレストのエレベーター機能を利用し、下肢を挙上する。

内容	【吸引器の落下・故障】 ベッドの高さをあげたところ、ベッドサイドテーブルを宙づり状態にしてしまい、そこに配置していた吸引器が床に落下。 原因はベッドサイドテーブルの状態を確認していなかったためと考える。
改善策	・ベッドの高さを調整する前に、周囲の環境を確認する。 ・ベッドサイドテーブルの上に置かれている機器の安定性の確認。 ・ベッドの高さを変えた後も、周囲の環境を確認する

7. 地域への情報提供

特になし

8. その他特記事項

特になし
